

相談支援事業所はなのき

2025年事業報告 2026年行動計画

2025年度事業実績

2025年度達成目標 2,000,000円

2025年度事業実績 2,288,877円



達成率 114% 前年度比106%増

事業実績増加の主な理由

加算算定を意識すると、
より丁寧な支援につな
がり、報酬もup。
目標数字が達成できた。

医療・保育・教育機関等連携加算

2024年度 22件



2025年度 33件



内訳：学校訪問27件、園3件、学童1件、訪問看護1件

2025年度行動計画 ①担当エリアの拡大

新規利用児童の獲得目標5名 達成（半田市のみ）

課題点：武豊町からの引継ぎが難航

②地域生活支援拠点等整備に伴う相談員の役割

- ・半田市自立支援協議会 地域づくり部会参加
- ・半田市シェルター事業（緊急ショート）打合せ

この地域に
これまでなかった
新しい短期入所の
アピールができた！

③意思決定支援～子どもたちのニーズを大切に～

ご本人からの聞き取りや面談

100%達成

サービス提供時モニタリング加算算定

90 %達成

医療・保育・教育機関等連携加算算定

26人/28人

園・学校訪問

90%以上達成

意思決定支援に取り組んだ結果

多角的な視点から、
ご本人のニーズを
判断できる！
関係機関と力を合わ
せられる！

サービス提供時モニタリング加算

事業所と
顔の見える関係。

事業所の困り
ごとの解消。

医療・保育・教育関係等連携加算

園・学校と
情報共有。

合理的配慮
依頼。

2026年度 行動計画目標

目標 1：新規利用児童 6名獲得。

目標 2：関係機関等との支援統一。情報の見える化。

目標 3：周囲と課題の共有。評価してもらう仕組みづくり。

目標 1 : 新規利用児童 6名獲得

2026年度	達成目標	2,500,000円
2026年度	予想 (4月現在)	2,068,520円
	不足	431,480円
	現在登録児童数	32名

2027年3月卒所予定 2 名を含め、 **プラス6名必要。**

はなのきの強みをアピールする

毎学期の
モニタリング

園、学校
年1回以上の
訪問

ご家族にも
伴走

関係機関にも
伴走

Vineland- II を
活かした計画
作り

他事業所にはない
細やかな対応ができる！

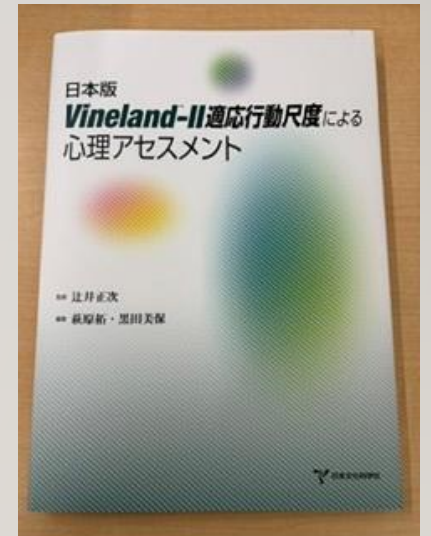
目標 2：関係機関との支援の統一。情報の見える化。

分かりやすい ・ 齟齬がない ・ 納得できる ・ 協力し合える

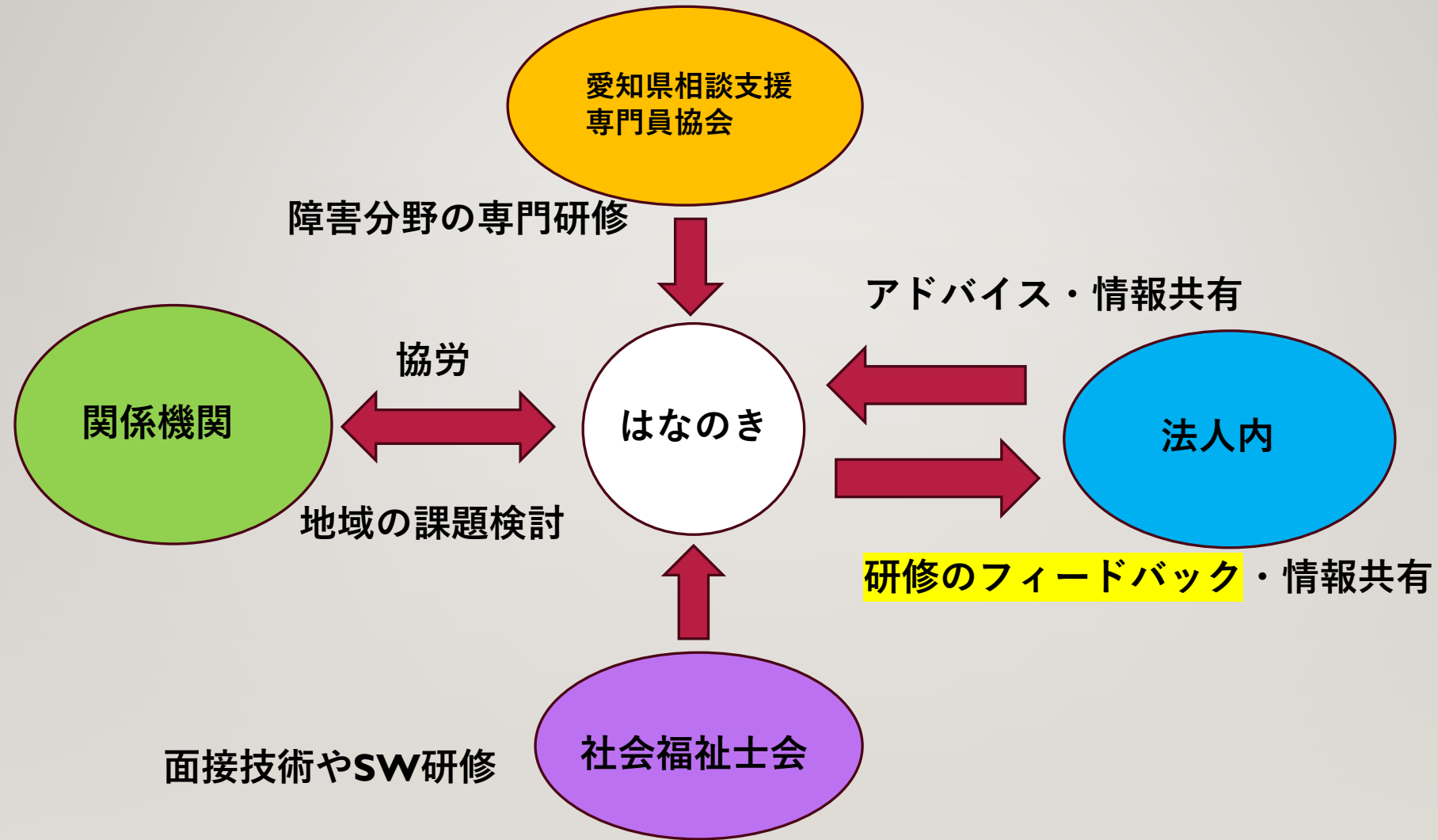
写真・動画

支援物

Vineland- II



目標 3：課題は周囲と共有。評価してもらう仕組みづくり。



(1)評価してもらえる仕組み

・ Vineland-Ⅱ アセスメント
の評価。

- ・ 法人内職員、専門職との協労。アドバイスを頂く。
- ・ 愛知県相談支援専門員協会、社会福祉士会の活用。
- ・ 現場向け研修への参加。支援方法の理解し、モニタリングに活用する。

(2) スキルアップと法人への還元

自分のスキルを現場に還元

- ・面接技術を法人管理職へフィードバック
- ・必要な研修内容によっては、職員へフィードバック

年間スケジュール

- 4月～5月 新規利用児童 モニタリングや学校訪問。
環境の変化に弱さがある児童に対する集中的サポート
* 学校と密に連絡が取れる体制づくり。
- 6月～7月 安定的利用段階の児童のモニタリングや学校訪問。
夏休みレスパイトが必要になりそうな児童の利用調整。
* 新規獲得4名以上を目指す。
- 8月～ 中3生 進路等について、学校との情報共有。
* 就労選択支援事業利用者の対応

年間スケジュール

9月～10月 事業所の個別支援計画変更に伴う面談同席。

* 担当者会議。支援方法の統一。

夏休み明け、学校への行き渋りのサポート

11月～12月 中3（3名）、小6（3名）に向けての学校と調整。

* 新規2名以上獲得

1月～3月 来年度にむけて、利用計画内容の検討。

